

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫

●研究の名称

外科教育における AI 活用の可能性—乳腺専門医との比較研究から—

●研究の対象

京都第二赤十字病院および関連施設に所属する乳腺外科専攻医および初期研修医を対象とします。また、本研究では当院で既に承認されている先行研究（乳腺専門医と生成 AI が提示する進行再発乳癌治療方針の比較研究；承認番号 S2025-42）において作成した乳癌患者さんの情報を用います。

●研究の目的

近年、生成 AI の医療分野への応用が進んでいますが、外科教育、とくに治療方針立案能力の向上に対する教育的効果については十分に検証されていません。

本研究では、先行研究（乳腺専門医と生成 AI が提示する進行再発乳癌治療方針の比較研究；承認番号 S2025-42）において作成した乳癌患者さんの情報を用い、AI による模範解答を活用した教育介入の前後で、若手外科医の治療方針立案能力が向上するかを検討し、外科教育における AI 活用の可能性を明らかにすることを目的としています。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から 2027 年 1 月 31 日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の≪利用する試料・情報の項目≫について調査します。

≪利用する試料・情報の項目≫

●試料：なし

●情報：先行研究（乳腺専門医と生成 AI が提示する進行再発乳癌治療方針の比較研究；承認番号 S2025-42）において作成した乳がん患者さん 100 症例分の情報を用います。なお、利用する情報ではお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報削除しています。

≪利用を開始する予定日≫

研究機関の長の実施許可日

《利用する者の範囲》

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 乳腺外科 湯 麗穎

《試料・情報の管理について責任を有する者の名称》

京都第二赤十字病院 院長

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：乳腺外科 湯 麗穎

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）